

平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 滝沢 昌彦

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	6,315	△2.4	△115	—	△122	—	△168	—
24年6月期第1四半期	6,474	6.6	59	—	60	—	△34	—

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 △149百万円 (—%) 24年6月期第1四半期 8百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	△18.24	—
24年6月期第1四半期	△3.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第1四半期	21,220	6,448	30.4	696.36
24年6月期	20,035	6,690	33.4	722.48

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 6,448百万円 24年6月期 6,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 6月期の連結業績予想(平成24年 7月 1日～平成25年 6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,760	2.5	1,450	△3.5	1,500	△0.2	830	23.4	89.62
通期	31,400	2.0	1,570	△17.4	1,600	△15.1	770	6.2	83.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 有

④ 修正再表示 ： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年6月期1Q	9,295,000 株	24年6月期	9,295,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年6月期1Q	35,045 株	24年6月期	34,545 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年6月期1Q	9,260,205 株	24年6月期1Q	9,262,348 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年7月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、復興事業等を背景に緩やかな景気の持ち直しが見られたものの、欧州債務危機や米国経済の低迷による金融市場の不安に加え、長期化する円高、電力供給問題など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、所得水準の伸び悩みや、節約志向・低価格志向の浸透等により、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高63億15百万円（前年同四半期比1億58百万円（2.4%）の減少）、営業損失は1億15百万円（前年同四半期は営業利益59百万円）、経常損失は1億22百万円（前年同四半期は経常利益60百万円）、四半期純損失は1億68百万円（前年同四半期は四半期純損失34百万円）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、消費の低迷、引き続きデフレと激化する小売業における価格競争の環境のなか、依然として厳しい状況が続いております。

今夏は8月のお盆明けも猛暑が続き、9月においては北日本を中心に観測統計開始以降で最も高い気温となり、水産練製品の需要にとっては厳しい環境で推移いたしました。

主な商品の販売動向といたしましては、冷麺メニュー利用用途訴求などの販売促進活動を行った「カニ風味蒲鉾」部門や、新商品投入が奏功した「竹輪」部門、商品リニューアルと販売促進を強化した「食品」部門の風味とうふなどは順調に売上高を拡大いたしました。また、おでん商材の需要が活発化せず、「調理済みおでん」部門やおでんセットを中心とした「揚物」部門などのホットメニュー商品群の売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は54億21百万円（前年同四半期比63百万円（1.2%）の減少）、セグメント損失（営業損失）は95百万円（前年同四半期は11百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、8月の猛暑及び9月の記録的残暑の影響に加え、野菜相場、きのこ相場の低迷により、平年価格を大幅に下回る厳しい相場で推移いたしました。

このような環境のなか、販売強化により販売量は前年同四半期を上回ったものの、売上高・利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は7億14百万円（前年同四半期比1億38百万円（16.2%）の減少）、セグメント損失（営業損失）は51百万円（前年同四半期は35百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③ その他

(運送・倉庫事業)

運送事業におきましては、既存のお客様との取引深耕に加え新規顧客の開拓により、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、新規入庫が低調に推移したことにより荷役料収入が減少し、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

(ゴルフ場事業)

ゴルフ場事業におきましては、個人消費の低迷に加え、競合コースとの価格競争が続いたものの、集客力向上に向けた営業活動の強化により、来場者数、売上高とも前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は1億79百万円（前年同四半期比43百万円（32.1%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は29百万円（前年同四半期は10百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は70億26百万円（前連結会計年度末比9億41百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加、需要期に備えた商品及び製品、仕掛品の増加によるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は141億94百万円（前連結会計年度末比2億43百万円の増加）となりました。これは主に水産練製品製造設備の機械装置及び運搬具の増加によるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は94億49百万円（前連結会計年度末比17億99百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は53億22百万円（前連結会計年度末比3億72百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少、配当金の支払等により64億48百万円（前連結会計年度末比2億42百万円の減少）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の33.4%から30.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績は概ね当初予想した状況で推移しており、平成24年7月27日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社（一部の連結子会社を除く）は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	927,938	815,676
売掛金	2,788,882	3,507,562
商品及び製品	415,943	735,737
仕掛品	454,452	685,536
原材料及び貯蔵品	1,328,894	1,107,059
その他	169,914	175,588
貸倒引当金	△824	△917
流動資産合計	6,085,201	7,026,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,453,744	5,433,426
機械装置及び運搬具（純額）	2,298,421	2,445,572
工具、器具及び備品（純額）	133,709	155,175
土地	3,573,193	3,577,074
リース資産（純額）	38,117	38,737
建設仮勘定	—	77,889
有形固定資産合計	11,497,186	11,727,875
無形固定資産	284,632	282,533
投資その他の資産		
投資有価証券	1,572,008	1,607,918
その他	661,905	640,835
貸倒引当金	△65,416	△65,131
投資その他の資産合計	2,168,497	2,183,622
固定資産合計	13,950,316	14,194,030
資産合計	20,035,517	21,220,275
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,768,023	1,853,746
短期借入金	3,308,172	5,165,226
未払法人税等	112,690	75,409
賞与引当金	77,523	204,697
未払金及び未払費用	1,551,797	1,430,036
その他	832,084	720,385
流動負債合計	7,650,292	9,449,500
固定負債		
社債	1,760,000	1,710,000
長期借入金	3,358,515	3,010,668
退職給付引当金	1,284	1,348
役員退職慰労引当金	128,322	141,726
その他	446,589	458,736
固定負債合計	5,694,711	5,322,478
負債合計	13,345,003	14,771,979

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	4,806,449	4,544,875
自己株式	△17,245	△17,487
株主資本合計	6,379,203	6,117,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	311,310	330,907
その他の包括利益累計額合計	311,310	330,907
純資産合計	6,690,514	6,448,296
負債純資産合計	20,035,517	21,220,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	6,474,024	6,315,735
売上原価	4,863,402	4,864,589
売上総利益	1,610,621	1,451,145
販売費及び一般管理費	1,551,089	1,566,215
営業利益又は営業損失(△)	59,532	△115,069
営業外収益		
受取利息	151	57
受取配当金	2,780	2,228
受取賃貸料	5,436	4,985
受取手数料	10,850	—
保険配当金	4,643	4,601
雑収入	5,614	8,052
営業外収益合計	29,476	19,926
営業外費用		
支払利息	27,586	26,001
雑損失	447	1,619
営業外費用合計	28,033	27,621
経常利益又は経常損失(△)	60,975	△122,765
特別利益		
固定資産売却益	869	393
特別利益合計	869	393
特別損失		
固定資産除却損	6,395	2,866
役員退職慰労金	94,171	—
災害による損失	27,357	—
工場移転費用	2,287	22,776
特別損失合計	130,212	25,642
税金等調整前四半期純損失(△)	△68,367	△148,014
法人税、住民税及び事業税	15,119	70,094
法人税等調整額	△49,400	△49,178
法人税等合計	△34,280	20,915
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△34,086	△168,930
四半期純損失(△)	△34,086	△168,930

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△34,086	△168,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,490	19,596
その他の包括利益合計	42,490	19,596
四半期包括利益	8,403	△149,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,403	△149,333
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,485,312	852,745	6,338,057	135,966	6,474,024	—	6,474,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	356,859	356,859	△356,859	—
計	5,485,312	852,745	6,338,057	492,825	6,830,883	△356,859	6,474,024
セグメント利益	11,590	35,097	46,687	10,880	57,568	1,964	59,532

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額1,964千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,421,571	714,517	6,136,088	179,646	6,315,735	—	6,315,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	362,868	362,868	△362,868	—
計	5,421,571	714,517	6,136,088	542,515	6,678,603	△362,868	6,315,735
セグメント利益又は損失(△)	△95,878	△51,390	△147,268	29,982	△117,286	2,216	△115,069

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額2,216千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社及び連結子会社（一部の連結子会社を除く）は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失への影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。